

第7次 千代田町行財政改革大綱「実施計画」及び取組実績

【区分】◎:目標達成 ○:一部達成 △:検討協議 ×:未実施

1 町民サービスの向上と町民参加の推進

(1) 町民サービスの向上

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
1	窓口業務及び公共施設等における町民サービス向上	■	■	■	■	- サービス内容の向上に向けた検討 - 施設内スペースの活用と充実	総務課	○	役場北側の外灯の修繕を実施。照度が以前の電球より明るくなり、水曜日の窓口延長時、夜間の会議等の来庁時に役場敷地内が見やすくなった。また、明るくなったことにより防犯対策も期待できる。そのほか、雪及び雨天時に役場入口部分の床が滑りやすいため、スロープを設置し転倒の防止を図った。	○	役場来庁者駐車場の外灯の修繕を実施し、照度が以前の電球より明るくなり、水曜日の窓口延長時、夜間の会議等の来庁時に役場敷地内が見やすくなった。また、明るくなったことにより防犯対策も期待できる。また、不審者対策用に、刺股を購入。目に届くところに設置し、防犯対策を行った。役場内のスペース対策としては、環境下水道課が、役場庁舎内に設置されたことにより書類スペース等が必要となったため、旧宿直室の外、第2委員会室等を整理し、スペース確保に努めた。
								△	年度途中に電算システムの変更があったが、各係で情報を共有することで、大きなトラブルもなく対応することができた。毎週水曜日の窓口延長時は2名での対応となるため、来庁者が重なり、お待たせするようなこともあった。	○	窓口に来庁者が見えた際には、挨拶を行い、積極的に声掛け、対応することができた。担当者不在時に窓口来庁や電話があった場合は、きちんと伝言等を行い対応漏れのないように行うことができた。確定申告期間や毎週水曜日の窓口延長時(2名対応)には、窓口対応職員が手薄にならざるを得なかったが、各係で適宜情報を共有しながら行うことに努めた。
							住民福祉課	○	戸籍法をはじめとした関連法律等の改正に対応するため、積極的に研修会等に出席し、法令順守を念頭に、窓口サービスの向上に努めた。婚姻届を提出する際の記念撮影用として、『みどりちゃん』の寿スクリーンを購入し、祝福ムードをお手伝いしている。ただし、大きなスクリーンのため、常設には至っておらず、施設内スペースの有効利用には結びついてはいない。	◎	戸籍法をはじめとした関連法律等の改正に対応するため、積極的に研修会等に出席し、法令順守を念頭に、窓口サービスの向上に努めた。婚姻届や出生届等を提出する際の記念撮影用として、希望者には施設内スペースに記念撮影ブースを設置し、職員が写真撮影するサービスを実施、祝福ムードをお手伝いした。
								◎	臨時福祉給付金(経済対策分)において、申請者が多数訪れる申請受付期間の初めの時期(受付開始日から2ヶ月間)に、役場住民相談室にて特設会場を設置した。また、児童扶養手当の現況届出においても、対象者1人あたりの申請受付時間が比較的最長いことから、給付金同様に、役場住民相談室に特設会場を設けた。上記、2つの受付対応により、住民福祉課窓口の混雑を避けることができた。	◎	児童扶養手当の現況届出においては、対象者1人あたりの申請受付時間が比較的最長いことから、給付金同様に、役場住民相談室に特設会場を設けることにより、窓口の混雑を避けることができた。臨時福祉給付金(経済対策分)については受付を終了。
							環境下水道課	○	コンテナを設置し資源物のストック場所は確保ができたが、金属、小型家電、紙類、廃プラスチックの回収が大幅に増えたため依然駐輪場を圧迫している。平成30年7月からは各行政区の資源物回収ステーションで金属、小型家電の回収を実施するため今後保健センターでの回収量は減ってくると	◎	ちよだスマイルポイント事業に伴い古着の計量と保管を行う場所としてユニットハウスを設置した。資源物が雨にぬれることもなく、資源物の盗難も防げた。
							経済課	○	証明書の発行については専門的な知識が必要なため、担当者不在時には申請者から聞き取りして詳細を把握し、後程、担当から連絡させることに努めた。また、電話や来庁者に対して、担当者不在のときはメモを取るなどして、対応漏れがないよう徹底した。	○	証明書の発行については専門的な知識が必要なため、担当者が不在の場合には、申請者から聞き取って詳細を把握し、後程、担当から連絡させるように努めた。また、電話やお客様に対して、担当者不在のときはメモを取るなどして、対応漏れがないよう徹底した。
							都市整備課	◎	点検結果に基づき遊具の修繕や入替えを行うとともに、公園の維持管理に努めた。	◎	遊具の点検結果に基づき、修繕や撤去及び更新等を行い、公園の維持管理に努めた。
							会計課	◎	今年度の目標は、概ね達成できたと思われる。今後も引き続き町民に対してのサービスの向上を心がける。	◎	今年度の目標は、概ね達成できたと思われる。今後も引き続き、町民に対して思いやりのある対応を心がけ、サービスの向上を目指したい。

								議会事務局	◎	町制施行35周年事業として、また開かれた議会を目指し12月に「子ども議会」を開催した。公民を学び社会の授業の一環として、12名の中学生が子ども議員として一般質問を町長、教育長に行った。それぞれの子ども議員から再質問もあり、緊張の中に実施することができた。その中の質問の一つの結果として、町民体育館に温度計を設置してもらうことができた。中学生の立場でまちづくりを考え、卒業後社会人・高校生になり、また新たに千代田町について考えてもらう機会ができた。	○	当初は、町制35周年事業として実施したので、平成29年度のみということであったが、議会改革推進特別委員会において協議した結果、次年度以降も恒例行事として実施することとなった。今年度は、中学校と調整したところ昨年度より1カ月前倒して11月6日(火)の実施ということになり、会場については、昨年度と同様に役場の議場において行うこととなった。内容としては、ほぼ昨年度と同様であり、12名の中学生(3年生)による「一括質問形式」として行い。質問の内容により、町長、教育長、及び担当課局長が答弁するというものであった。当日の傍聴人が少数であったので、今後、事業のPRなどの周知が課題である。
								教育委員会	○	町民プラザでは、受付カウンターを工事したことにより、接客時に障害となっていた窓枠が撤去され、広々とした窓口で接遇できるようになり、利用者の利便性の向上を図ることができた。 スポーツ振興係では、コミュニティーセンターの一部開放に向け、センター内の備品整理や襖の貼り替え、センター外に自動販売機の設置などを行った。 図書館では、昭和57年の開館以来、月曜日・火曜日休館で運営して来たが、住民サービスの向上を図るため、火曜日開館を開始した。また利用者からの要望により、図書館内に飲食コーナーを設置した。学校図書室のシステム化については、見積金額を図書館協議会で報告した。	○	町民プラザでは、平成29年度に受付カウンターの窓枠を撤去したことで広々とした窓口で接遇できるようになり、引き続き利用者の利便性の向上を図ることができている。また、施設の使用申請書について記載内容を見直したことにより、申請書類の簡素化を図った。 スポーツ振興係では、コミュニティーセンターについて、マラソン大会で豚汁を配布する場所になり参加者の出入りがあるため、木製長テーブルの補修及び整理整頓を行った。 図書館では、学校図書室のシステム化について、令和元年度に予算計上し夏休み以降に導入する予定である。また、町立図書館を含めたネットワーク化については、今後も引き続き検討して行く。
2	町税等の納付機会の拡大		■	■	■			・コンビニ収納の実施	財務課	すでにコンビニエンスストア収納を行っている自治体の収納状況を参考に、導入に関する初期費用やランニングコストを精査し、平成30年度よりサービスを開始することとなった。	◎	町税の収納事務を委託して、平成30年度の納付書から従来の金融機関の窓口や口座振替に加えて全国各地のコンビニで24時間365日納付できることとなった。 平成30年度の延べ件数 7,379件 収納額 116,405,870円 介護保険料と後期高齢者医療保険料は、コンビニで納付できないため、金融機関窓口や口座振替となるため、今後行っていくか検討が必要である。
3	各種イベント内容の見直し							・アンケート・意見聴取の実施 ・イベント内容の見直し	総務課	ちよだ利根川おもてなしマラソン事業は町外からの来客を呼び込むことのできるイベントであり、ランナー・ボランティア・職員に対するアンケートを実施している。 アンケート結果を基にしたイベントとなるよう内容の見直しを実施していく。	◎	ちよだ利根川おもてなしマラソン事業は町外からの来客を呼び込むことのできるイベントであり、ランナー・ボランティア・職員に対するアンケートを実施している。 アンケート結果を基に、会場レイアウトの変更やスタート位置の変更を行った。
								健康こども課	◎	町民の皆様楽しんでいただけるよう、スタンプラリー・各種健康チェック・ワークチンクイズ等体験型のコーナーを実施。また、町制35周年記念イベントとして、町内保育園・幼稚園年長児によるぬりえ大会を実施。親子で来場していただけるよう努めた。更に、町のゆるきゃらみどりちゃん・樹里ちゃんと撮影会や子ども服のフリーマーケットを行うなど集客に努めた。 なお、保健センターまつりは平成29年度で廃止となるため、今後は、ちよだスマイルポイント制度等でごみ減量化、健康増進の推進を行う。	—	平成30年度の機構改革に伴い、イベントの開催について見直しを行った。 従来の健康啓発等の活動については、他のイベントとの連携や保健事業開催時に行うこと等で効果的に実施できること、又、予算削減にもつながることから、保健センターまつりは平成29年度をもって終了となった。
		■	■	■	■			環境下水道課	◎	保育園、幼稚園の保護者から、不要となった子供服を回収し、保健センターまつりで2袋100円のつめ放題として提供した。 リユース(再使用)の体験の場を提供し、集めたお金3,100円は日本赤十字社に義援金として寄付もできたためとても良い形で元えた。	○	保健センターまつり終了後も、ポイント事業、学生服等リユース事業を行うことで、リユース(再使用)、リサイクル(再生利用)の普及啓発につながり、循環型社会の形成に貢献できた。
								経済課	○	千代田の祭川せがきについては、町制施行35周年事業として花火業者をプロポーザルにより選定し、打上花火に比重を置いて盛大に開催した。しかしながら、各種団体の要望や警察の指示により、突発的な支出があったため、繰越金を大きく減らしてしまった。 産業祭についても35周年事業として、東部運動公園において、ステージ演出や出展内容を充実させ盛大に開催した。	○	千代田の祭川せがきについては、今までで一番の来場者があった。その他にも開始時間を1時間早くスタートし、サマーコンサートを実施した。会場内の集客率を大幅に超えた人数が押し寄せてしまい、色々な場所で収拾が付かなくトラブルが多発してしまった。その他にも花火が途中でトラブルがあった。 産業祭については、例年実施の内容に加え、ステージイベントとして「誕生記念樹事業」「緑のカーテンコンテスト」、総合体育館内にて「学生服等リユース事業」を新規事業として実施。また、メイン会場内にて商工会青年部による「子ども向け職業体験ブース」を新規に実施し、従来に比べ充実した内容で開催した。

							教育委員会		町民プラザでは、次年度実施予定のイベントについて、「実施予定月」レベルでの計画策定を行った。また、子ども向けのジャズコンサートを行い、町のマスコット「みどりちゃん」が舞台に出演した。スポーツ振興係では、チャリティーゴルフ大会・町レガッタ大会・サッカー大会など、毎年恒例となっているイベントについて、次年度から順次見直しができるよう検討を行った。		町民プラザでは、次年度実施予定のイベントについて、「実施予定月」レベルでの計画策定を行った。また、町民への文化振興のため、ロビーコンサートを開催した。スポーツ振興係では、町レガッタ大会について、カヌーやサップ等の水上スポーツが体験できるアウトドアアクティビティー教室を新たに実施した。また、一般野球大会は例年土日に実施していたが、参加者が減少してきたため、日曜日とその翌日の祝日を利用して実施したことにより、参加者が50名程増加した。町民体育祭では、参加者を募るためアンケート調査で回答があった種目を新たに取り入れて、活性化を図った。図書館では、チャレンジ手帳の対象となる活動内容を大幅に増やし、図書館利用者の増加及びチャレンジ手帳の推進を図った。
--	--	--	--	--	--	--	-------	--	--	--	--

(2) 行政への町民参加の推進

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
4	広報・広聴の充実	■	■	■	■	・広報紙・HPによる広報・広聴活動の充実 ・各課局におけるSNSの活用	総務課	○	平成29年7月に町ホームページをリニューアルし、検索することで必要な情報を探しやすい画面構成とした。各課局におけるSNSの活用については、セキュリティとの兼ね合いもあるが、今後の情報発信の方法について検討していく。	○	今年度はYouTubeに「みどりちゃんチャンネル千代田町公式動画チャンネル」をアップし、町の魅力発信に努めた。各課局におけるSNSの活用については、セキュリティ面から困難となっている。
5	官民連携のまちづくりの推進	■	■	■	■	・協働のまちづくり団体の育成推進 ・官民が連携した事業の推進	総務課	◎	協働のまちづくり事業については、新たに2団体が設立され、活動を開始した一方で、1団体が平成29年度で活動終了となった。広報紙やホームページでの募集活動を継続していく。官民が連携した事業については、ちよだ利根川おもてなしマラソンや桜まつりが実施され、行政・地域住民・企業などを巻き込んだ事業展開となっている。	◎	協働のまちづくり事業については、1団体が平成30年度で活動終了となった。今後も町広報紙や町ホームページでの募集活動を継続していきたい。官民が連携した事業については、ちよだ利根川おもてなしマラソンや桜まつりが実施され、行政・地域住民・企業などを巻き込んだ事業展開となっている。
6	自主防災組織結成の促進	■	■	■	■	各行政区単位等への自主防災組織設置促進	総務課	○	平成29年度中に4行政区で自主防災組織が立ち上がった。自主防災組織設立に関する相談があった地区には、組織立ち上げのための資料等を提供した。	○	平成30年度中に1行政区で自主防災組織が立ち上がった。自主防災組織設立に関する相談があった地区には、組織立ち上げのための資料等を提供した。また、未設置地区の区長に対して、自主防災組織の必要性などが記載している冊子を提供して、設置を促した。
7	ごみの減量化・資源化の推進	■	■	■	■	・ごみの減量化・資源化の推進 ・ごみステーションでの回収品目の充実	環境下水道課 (環境保健課)	○	試験的に7区で小型家電、金属類のステーション回収を行った。小型家電、金属類の以外のごみが混入されることもなく分別回収ができていたもので、平成30年7月から各地区の資源物回収ステーションで小型家電、金属類の回収を行う。また、試験的に7区、17区でプラスチック製容器包装類、白色トレイ、牛乳パックのステーション回収を行った。汚れたものの混入が見られたため周知を徹底し、平成30年7月から各地区の資源物回収ステーションで回収を行う。	○	金属・小型家電、ガラス、陶磁器類のステーション回収、プラスチック製容器包装類、白色トレイ、牛乳パックなど拠点回収しか行っていないものを各ステーションで収集できるようにした。

2 人材の育成と職員の意識改革

(1) 人材育成の推進

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
8	職員研修の充実強化	■	■	■	■	階層別職員研修の充実強化	総務課	◎	新採用職員研修、法制執務研修といった町独自の研修や県市町村合同職員研修、町村会研修、館林邑楽合同職員研修などの職員の成長段階や階層に応じた研修への参加を推進した。	◎	新採用職員研修、法制執務研修といった町独自の研修や県市町村合同職員研修、町村会研修、館林邑楽合同職員研修などの職員の成長段階や階層に応じた研修への参加を推進した。
9	人事評価制度の効率的な運用	■	■	■	■	人事評価制度の定着促進	総務課	◎	自己申告に基づく年2回の業績評価及び年1回の能力評価を行い、その結果を任用・給与等へ反映させるとともに、面談・結果の開示を実施した。また、町村会主催の人事評価実務研修会に新任課長を派遣した。	◎	自己申告に基づく年2回の業績評価及び年1回の能力評価を行い、その結果を任用・給与等へ反映させるとともに、面談・結果の開示を実施した。また、町村会主催の人事評価実務研修会に新任課長及び新任施設長を派遣した。
10	定員管理の適正化		■	■	■	定員管理計画の作成	総務課	—	平成30年度に策定予定。	◎	平成31年3月に、平成31年度から令和5年度までを計画期間とした第4次千代田町定員適正化計画を策定した。

(2) 職員の意識改革の促進

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
11	職員の意識改革の促進	■	■	■	■	・設定テーマ研修の実施 ・危機管理対策研修の実施 ・民間企業での実務研修の実施	総務課	○	危機管理研修を実施するとともに、設定テーマ研修として新聞活用方法等研修を実施した。	◎	設定テーマ研修としてハラスメント防止研修及び女性職員研修を実施するとともに、民間企業での実務研修を実施した。
12	女性職員の積極的登用	■	■	■	■	・意識啓発のための研修の充実 ・女性職員の役職登用率の向上	総務課	◎	女性職員の内、9名（課長職2名、課長補佐職3名、係長職4名）が役職に登用された。	◎	女性職員の内、6名（課長職1名、課長補佐職2名、係長職3名）が役職に登用された。また、女性職員を対象に女性リーダー研修（主任以上対象）及び女性職員キャリアアップ研修（主事対象）を実施した。
13	職員の人事交流	■	■	■	■	県との人事交流	総務課	◎	県へ町職員を1名派遣した。	×	県への派遣を募集したが、応募者がいなかったため、未実施。
14	組織体制の見直し	■	■	■	■	時代に合った組織体制の見直し	総務課	○	平成30年4月の機構改革に向けた組織体制の見直し及び関連例規等の改正を行った。	◎	平成30年4月に機構改革を行い、子育て支援業務の充実を図るため、新たに健康子ども課を設置するとともに、環境関係業務及び下水道関係業務を再編し、環境下水道課を設置した。

3 持続可能な財政運営の確立

(1) 収納率の向上

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
15	収納率向上の促進	■	■	■	■	町税等に係る収納率の向上	財務課	○	群馬県との合同で滞納整理を3回実施し、滞納解消に努め、悪質滞納者について、1件完納に結び付けることができた外、毎年東部地区で開催されている不動産合同公売に物件を選定し、参加することができた。また、督促催告を行っているにもかかわらず、納付の確認できない者に対しては、積極的に財産調査を行い、給与や預貯金、国税還付金等の差押えによる滞納処分を行った。	○	今年度も群馬県との合同で滞納整理を3回5月、9月、12月に実施し、滞納解消に努めた。また、毎年東部地区で開催されている不動産合同公売に物件を選定し売却することが出来、未納額に充て完納させることができた。また、督促催告を行っているにもかかわらず、納付の確認できない者に対しては、積極的に財産調査を行い、給与や預貯金、生命保険、国税還付金等の差押えによる滞納処分を行った。
16	滞納整理対策の連携強化	■	■	■	■	各課局における滞納整理対策の連携強化	財務課	△	納税相談を行うことにより、納付に結び付けることができた。また、研修等に積極的に参加することで、滞納を解消するためのスキルを身に付けることはできたが、資格担当課との合同滞納整理については実施することができなかった。	○	群馬県の主催している研修等に積極的に参加することで、滞納整理に関する正しい知識と技術を身につけることができた。また、国民健康保険資格担当課との合同滞納整理についても実施することができた。次年度以降に向けて、資格担当者、賦課担当者との合同で滞納整理の実施回数を増やせるように検討したい。
						住民福祉課	◎	システムのメモ機能を活用するなどし、係内で共通認識を持って取り組めた。 財務課と共同で納税相談や訪問徴収が実施できた。 収納率も前年度を上回る見込みである。	◎	システムのメモ機能を活用するなどし、係内で共通認識を持って取り組んだ。 財務課と共同で納税相談や訪問徴収を実施した。 より有効な方法や時期について見直しをしていく。	
						都市整備課	◎	住宅家賃滞納者に対する納付勧奨に取り組み、収納率の向上及び滞納者増加の防止ともに達成することができた。	○	町営住宅使用料の滞納者に対し、定期的及び継続的な納付を依頼するとともに、新たな滞納者の増加防止策を講じた。その結果、滞納額は減少傾向にあるものの、平成29年度の収納率と比較すると、ポイントが下がった。	
						教育委員会	○	給食費未納者に対して、過年度分(H24～H28年度分)の督促書を4月、6月、12月に送付した。その他、大口未納者に対しては、学校を通じて支払いの働きかけを行った。	○	給食費未納者に対して、過年度分(平成24年度～平成29年度分)の督促書を4月、6月、12月に送付した。その他、大口未納者に対しては、学校を通じて支払いの働きかけを行った。	
17	町民サービスの制限の拡充					滞納者に対する町民サービス制限の拡充	総務課	◎	滞納者に対する町民サービスの制限を拡充するため、個人に対する補助金・助成金の交付要綱に、町税の滞納者を補助・助成の対象外とすることに加え、国民健康保険税の滞納も加えることとした。	◎	平成29年度より滞納者に対する町民サービスの制限を拡充し、個人に対する補助金・助成金の交付要綱に、町税及び国民健康保険税の滞納者を補助・助成の対象外としている。

[illegible]

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
18	ふるさと納税制度の推進	■	■	■	■	ふるさと納税制度の推進・返礼品の拡充	総務課	◎	ポータルサイトの窓口を拡充する(ふるさとチョイスの導入)とともに、返礼品の拡充を図った。今後も積極的なPRや寄附申込方法の拡充を行いたい。 なお、平成30年3月より、総務省の通知のもと、返礼割合を4割から3割に引き下げを行っている。	◎	ポータルサイトの窓口を拡充する(楽天ふるさと納税の導入)とともに、返礼品の拡充を図った。 総務省の通知に適合した形での制度推進を行いたい。
19	施設使用料の見直し検討	■	■	■	■	施設使用料の見直し検討	教育委員会	○	町民プラザでは、使用料や減免規定の見直しに向けて近隣施設の条例等の資料収集を行った。 社会体育施設では、一部の施設において使用料の設定がなかったため、施設によっては無料から数千円と大きな差があった。そのため、統一化と町外者へも貸出しができるように条例を改正し、無料の施設にも使用料を設定した。	○	町民プラザでは、使用料や減免規定の見直しに向けて近隣施設の条例等の資料収集を引き続き行った。 スポーツ振興係では、平成29年度に施設設置管理条例の一部改正を行い、これまで使用料を無料としていた施設についても使用料を徴収することとしたため、町広報紙や町ホームページ、チラシ等により周知を図った。

20	企業誘致の推進		■	■	■	■	企業誘致の推進	都市整備課		ふれあいタウンちよだ新規商業用地については、進出意向企業の社内調整が長引く状況となっており、年度内の決定に至っていないため引き続きの調整を実施する。 新規工業団地については、群馬県企業局による事業として農林調整協議を完了し、市街化編入手続きを進めて平成30年度当初の終了(決定告示)を予定する。	○	ふれあいタウンちよだ新規商業用地については、進出意向企業から進出断念の最終報告を受けたことから、他事業者に対する営業活動を実施した。併せて敷地分割しての分譲を視野に情報提供した。 新規工業団地については、5月に市街化編入手続きが完了し、併せて群馬県企業局による「千代田第二工業団地」として事業化決定したことから、企業局による用地買収が概ね完了し、造成工事に向けた施設設計業務に着手した。
			■	■	■	■		経済課	△	平成32年4月以降に分譲開始が決定したため、奨励金の条例制定は先送りとした。また、条例については、既存の商業施設誘致促進条例を改正するか、新規制定するかを今後も検討する。	△	令和2年4月以降に分譲開始が決定したため、奨励金の条例制定は先送りとした。また、条例については既存の商業施設誘致促進条例を改正するか、新設するかで今後も検討する。
21	新たな財源確保の検討						・町HP及び広報紙への有料広告掲載の促進 ・封筒や公用車への企業広告掲載の推進 ・プロジェクトチームによる新規財源確保の検討	総務課	○	ホームページへの有料広告掲載は、広告枠のスペースがほぼ埋まっているが、広報紙への有料広告掲載については、埋まっていない状況にある。 ホームページについては、広告枠の拡充や掲載料の検討を行い、広報紙については広告掲載募集を積極的に行う必要がある。	◎	ちよだ利根川おもてなしマラソンにおいて、大会プログラムへの企業広告掲載を行った。 町ホームページ及び町広報紙への有料広告掲載については、引き続き、広告掲載募集を積極的に行っていくたい。
								住民福祉課	△	近隣自治体における窓口用封筒の企業広告掲載状況は、調査済みである。しかし、総務課等と具体的な検討は行っておらず、連携を図る必要がある。	◎	住民票などの証明書を持ち帰るために使用する来客用のサービス封筒を作製し、住民福祉課や財務課等の窓口に設置した。窓口封筒への企業広告掲載を広告代理店に委託し、印刷コストの経費削減を図った。
								財務課	◎	平成29年4月に「新たな財源確保プロジェクト・チーム」を発足させ、新たな財源確保に向け、全庁的な意見の吸い上げや多角的な検討協議を実施し、平成29年8月に検討結果を町長に答申した。 検討結果による歳入確保対策として、債権による基金運用を開始したほか、都市公園・社会体育施設の使用料の見直し(条例改正)を実施した。歳出削減対策では、レーザープリンターのトナーをリサイクル品へと切り替えを行い、各種補助金の内容や支出根拠の確認のため「補助金チェックシート」の作成を行い、徴税滞納者への交付制限について統一を図った。	◎	収入確保対策では、窓口用封筒の広告掲載による無償調達やマラソン大会への協賛金収入の確保、ネットオークションによる物品の売り払いを実施した。歳出削減対策では、電力会社の新電力移行、ごみ対策と健康管理を合わせたポイント事業の発足を行った。その他、継続して対策を講じるためプロジェクトの進捗管理ヒアリングを行い、全庁的に新たな財源の確保に努めた。

(3) 経費の節減・合理化

No.	取組項目	取組年度				取組内容	担当課	進捗状況〈平成29年度〉		進捗状況〈平成30年度〉	
		29	30	31	32			区分	取組実績	区分	取組実績
22	補助金・助成金・交付金等の見直し				各種団体への補助金等の見直し	総務課	△	平成29年度が町制施行35周年であったため、「千代田の祭 川せがき助成金」については、前年度より増額した金額での交付となった。 交流人口を増やすことのできるイベントであることから、今後は事業効果等を検証しながら、助成金額の見直しについては検討していきたい。	○	平成29年度に町制施行35周年で増額された「千代田の祭 川せがき助成金」については、平成28年度同額に見直しを行った。	
						住民福祉課	—	平成29年度該当なし	—	平成30年度該当なし	
						環境下水道課	○	生活環境委員の報酬の見直しを平成28年度に行い、平成29年度から一律だった報酬を行政区ごとの世帯数を考慮した役員報酬としている。	○	対応済みのため未実施。	
						経済課	○	制度融資(小口資金)については、近隣市町の状況を踏まえて利用を増やすため貸付利率は引き下げたが利子補給は見送った。その他の補助事業については、昨年の実績を考慮し、補助率や上限額は現状維持とした。	○	制度融資(小口資金)については、近隣市町の状況を踏まえて利用を増やすため貸付利率は引き下げたが利子補給は見送った。その他の補助事業については、昨年の実績を考慮し、補助率や上限額は現状維持とした。 農業者向けの補助事業においては、米政策(主食用米)に係る補助金額を見直し減額とした。	

							教育委員会	○	町民プラザでは、各種団体の決算報告書及び領収書を精査し、例年どおりの予算執行を行った。 スポーツ振興係では、スポーツ選手派遣費に関する要綱や高校部活動全国大会出場壮行金に関する要綱を整備して派遣費等を交付した。	○	町民プラザでは、各種団体から提出された決算報告書及び関係書類を精査し、例年どおり適正な予算執行に努めた。 スポーツ振興係では、一部の団体から提出された決算書を確認したところ繰越金が多額であることから、平成31年度の補助金額の減額を行った。
23	経常経費の節減	■	■	■	■	・経常経費の抑制 ・維持管理的な委託料の削減	財務課	◎	予算編成時において、経常経費について精査を行い、計上額が前年を上回らないよう努めた。 光熱水費・電話料等の公共料金は、利用額を職員間で情報共有を行い、節約に努めるよう周知を行った。 特に、平成29年度では基幹システムの業者変更を行ったため、今後大幅な電算業務委託料の削減が期待できることとなった。	◎	翌年度の予算編成に当たっては、経常経費に削減率を設定したほか、長期継続契約の最終年度にあたるため、次期契約の内容や契約年数の見直しを行い、経常経費の削減に努めた。その他、新たな財源確保プロジェクトに位置付けられる各種対策を講じた。
24	公共施設マネジメントの実施	■	■	■	■	公共施設総合管理計画を踏まえた個別計画の策定	財務課	△	平成29年度中に策定された個別計画はなかったが、他市町村の個別計画について調査研究を実施した。	△	令和元年度中の建築系施設個別施設計画策定に向け、必要な予算措置を行った。
							住民福祉課	—	平成29年度該当なし	—	平成30年度該当なし
							健康子ども課	—	平成29年度該当なし	—	平成30年度該当なし
							都市整備課	△	幹線1、2級町道については舗装点検のみ実施したが、修繕計画は今後策定作業を進める予定である。	△	全125橋の橋梁点検については、一巡目が終了した。しかし、幹線1・2級町道の補修修繕計画は、現段階において未策定である。
							教育委員会	△	学校教育施設における長寿命化個別計画は、未着手である。 町民プラザでは、平成30年度の計画策定準備として、設備機器の保守点検業者に長期的な修繕計画の提出を依頼した。 社会体育施設では、管理施設の寿命を少しでも長く延ばすため、平成32年度までに個別計画の策定を検討協議している。	○	学校教育施設に係る長寿命化個別計画は、令和2年度までの策定に向けて検討する。 町民プラザでは、長寿命化個別計画を策定中であり、令和元年度を目途に策定予定である。 スポーツ振興係では、管理施設に係る長寿命化個別計画の令和2年度までの策定を検討協議している。